

## 編集後記

●本年9月に下水道機構は、15才の誕生日を迎えることになりました。これもひとえに、これまで下水道機構を支え、応援して下さったすべての方々のお陰だと改めて感じています。心より感謝し、新たな気持ちで下水道事業の発展とそれに関わる人々のために汗を流していこうと考えています。その第1弾として、これまで皆様に親しまれてきた「新機構情報」デザインや内容を一新し、「下水道機構情報」として新創刊いたしました。今後とも変わらぬご支援とご協力をよろしく願っています。

●15周年を記念して、今回のグラビア「キャッチ・アップ」には、これまで下水道機構が世に送り出した新技術の主だったものを紹介しました。水処理・汚泥処理・管渠からシールド技術まで、さまざまな研究成果のほんの一部ですが、ご覧ください。

●「メッセージ」は、下水道機構の技術評価の最高決定機関である技術委員会の田中和博委員長に「15周年によせて」と題して執筆していただきました。これまでの活動に関してちょっと辛口のご意見も頂戴しましたが、下水道機構に対する日頃の想いの強さを感じました。

●下水道機構では、これまでの15年を一つの区切りとして、次の15年を展望した「下水道機構ビジョン」を作成しました。今号では、このビジョン作成の背景と主旨を松井大悟理事長に解説していただきました。是非ともご一読ください。

●下水道機構の研究開発を紹介する「エンジニアリングレポート」は、福岡市との共同研究である「硝化促進型嫌気無酸素好気法に関する調査研究」と、民間企業との共同研究である「下水道における新エネルギー技術の導入・評価に関する研究」を掲載しました。

●「トピックス」は、世界の研究者の間で注目されている木質系バイオマスを原料とするバイオエタノール製造技術を取材し、掲載しました。

●全国各地で採用された新技術を訪ねて、そのフォローアップにつなげるための新コーナー「ユーザーレポート」の第1回目には、石川県七尾市と共同研究を行った「車載式高効率汚泥乾燥設備」を取材し、掲載しました。

●新オフィスに移り、役職員ともども新たな気持ちで、研究開発に取り組んでいます。お近くにお寄りの節は、いつでもお気軽にお立ち寄りください。歓迎いたします。  
(編集委員一同)

## 表紙の 写真



次世代の新しい技術への期待と本機構の成長を象徴する意味を込めて、子供の写真をシリーズとして紹介しています。写真の二人のお子さんは、本機構の会長である葉山莞児氏（大成建設株式会社代表取締役会長）のお孫さんです。向かって右が莞聖（あきと）くん、左が万璃（ばんり）くんです。

写真は、つい最近、相模川（厚木市）に家族で遊びに行った時のスナップだそうですが、これから思春期を迎える男の子の純粋さと意志の強さがありありと浮かんでくる1枚です。仲の良さがその表情からも感じ取れる二人ですが、写真でも分かるように、それぞれの強い個性がすでに表れてきています。将来どんな世界で活躍しているのかな？二人の成長を誰よりも楽しみにしているのは、おじいちゃんではないでしょうか。

題 字 財下水道新技術推進機構会長・葉山莞児  
（大成建設株式会社代表取締役会長、社日本土木工業会会長）の揮毫によるものです。

季刊 下水道機構情報 Vol. 1 No. 1  
2007年7月〈夏季号〉

平成19年7月3日発行 発行者 葉山莞児  
編集者 松井大悟  
企画者 谷戸善彦

編集委員：栗原 秀人／中里 卓治／鈴木 勇／小野田 吉恭／  
目黒 享／鳥海 弘／秋葉 竜大／長岡 英明／後藤 太

発行所 財団法人 下水道新技術推進機構

〒162-0811 東京都新宿区水道町3-1 水道町ビル7階  
TEL 03(5228)6511 FAX 03(5228)6512